

事業所名	グループホームいづえ楽寿 (クリックすると事業者の情報にリンクします)
日付	平成18年 2月23日
評価機関名	㈱東京リーガルマインド (クリックすると評価機関の情報にリンクします)
評価調査員	A:現職 医療施設管理者 資格・経験 特別養護老人ホーム生活相談員歴3年以上、臨床工学技士 B:現職 介護支援専門員 資格・経験 音楽療法トレーナー、介護福祉士、介護支援専門員、福祉住環境コーディネーター
自主評価結果を見る	(事業者の自主評価結果にリンクします)
評価項目の内容を見る	(評価項目にリンクします)
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります！)	(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

外部評価の結果

調評
全体を通して特に良いと思われる点など(記述)
(1)施設の周りには、井原という土地柄を思わせる郷土色豊かな寄せ植えの民家が散在しており、明るく落ち着いた住宅地の一角にホームはある。北側には緩ヶ丸山があり、南側には昔話に描かれているような山並みが望める。この近隣で生まれ育ち、様々な人生を経てこられて入居されている方々にとっては馴染みの風景であり心穏やかな環境である。
(2)2階建ての建物全体が南向きで明るい。バルコニーや吹き抜け、1階には前庭に出られるデッキがあり、施設の開放感を感じることができ、食堂全体には暖かい陽射しが差し込んでいる。廊下やエレベーターにある手すりの高さや、リビングにある畳スペースでは膝を痛めることがないように丁度よい高さを考慮しており、高齢者の身体状況を考慮した造りである。
(3)昼食会などには家族を招き、スタッフも一丸となって心から祝福し、お祝いの宴を開催している。家族と接する機会を設けるために利用料の支払いは現金にしているなど、入居者と家族、施設と家族が疎外感を感じることがないように配慮された運営をしている。行事の様子は記録写真として残している。家族とのスナップにはこぼれるような入居者の笑顔が数々写っている。「楽しい我が家」という居場所作りに努力している様子が伝わってくる。
(4)地域との交流も、お祭りの神輿やいづえ楽寿などの訪問、いづえ小学校からの訪問などがあり、地域と疎外されない日常行事が工夫されている。
(5)管理者は、入居者本位の介護姿勢からより質の高い介護を目指すために高い目標と情熱を持って、自分の経験や知識を元に介護レベルの向上に取り組んでいる。また、「楽しい介護しよう」を身上としており、その理念は働く人にも考慮したきめ細やかでユニークな勤務形態からも確認できた。
特に改善の余地があると思われる点(記述)
全体的に身体的重介護の方が多く、症状を様々である。その個々の人格や性格、心身の状況を把握しながら集団生活としての入居者全体の生活が円滑に、かつスムーズに行われるように配慮していくのは並み大抵のことではないと思われる。敢えて言えば、入居者の経験の尊重と潜在的に持っておられる「音取ったきねづか」が発揮できるような取り組みが行える機構をより多くもてるような配慮を期待する。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述) 職員は入居者本位の介護姿勢を持ち、入居者の方に自立した専断のある暮らしを送ってほしいと、「真の豊かさ」を目指している。そのために職員は有資格者を雇用し、研修を重ね、その内容は職員全員で共有し、それぞれのモチベーションを高めて「全体の介護の質を高める」ということに目標をおいている。 管理者は「楽しい我が家」作りのために、「楽しい介護」を身上としている。その精神は職員にも浸透しているようで、明るくいきいきと入居者に接する職員の姿からも窺えた。 入居者の「自己決定」を大切にしており、朝食などもその方が食べたい時間に食べられるように準備している。また、入浴や排泄といったことも本来の生活習慣や性格などを考慮しながら声を掛けるなどしている。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述) 室内は北側でも明るく、吹き抜けからは優しい光が差し込み開放感がある。 南に突き出た廊下のコーナーにはソファが置いてあり、気の合う同士で談笑することもできる。リビングにある畳のコーナーでは膝をつく時に膝を痛めないように高さを15cmとするなど、入居者の生活習慣や身体能力を考慮し、南側から差し込む明るい陽射しの中で足を伸ばしたり、寝転んだりできるように工夫されている。 職員は看護師の資格を有するなど有資格者を揃え、向上心を持って介護に臨む努力をしている。どんな場合でも穏やかに接することができるようなチームケアを目指しており、入居者は安心して暮らしている様子だった。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述) 個人のファイルや記録は戸棚にきちんと整理されて管理されている。 一人ひとりの以前出来ていた事と今出来る事を把握し、羞恥心には配慮がなされていた。校長先生だった方にスピーチをしてもらうなど、入居者の経験を引き出すような取り組みをしている。 個々の人格や性格、価値観や心身の状況を勘案しながら日常生活をスムーズに行えるように支援しており、一人ひとりを大切にされた姿がうかがえる。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け日々から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述) リビングなどには加湿器があり、感染予防のための配慮をしている。また、手洗い・うがいの励行やインフルエンザの予防接種など、感染予防や衛生・安全管理に気を配っている。 職員は、認知症や口腔ケアの研修などに積極的に参加してフォローアップに努め、職員間での知識・技術の向上に前向きに取り組んでいる。 職員は有資格者を揃えるようにしており、介護レベルの向上に取り組むため、目標を持って仕事に臨んでいる。 事故の報告書には対応策も考慮されており、ミスを繰り返さないような仕組みになっている。 緊急時のマニュアルが整備されており、また、心配な事があると管理者がいつでも駆けつけるようにしている。		